

英語学習ジレンマレポート

こんにちは、『独学英語 LIFE』運営者の REO です。

このレポートでは、
僕が現在、英語の他に、ビジネスの知識を一通り学んで
自由度の高い人生をようやく実現できたこと。

そしてそこに至るまでの
「英語ができれば本当に俺は幸せなのだろうか・・・」
というジレンマについて書き記そうと思います。

では、ここからはじまりです。

24歳の現在、僕は会社に就職はせず、
海外を転々としながら生活している。

こんなことを書くと、
フリーター？無職？若い内は好きなことをできていいなあ。
なんてよく言われるのだが、

僕は毎月生活するのに
十分な額の収益を自分で稼ぎながら暮らしている。

ちなみにこの収入は
一切自分が動くことなく得られる収入である。

僕は自己実現の手段として事業を始めた。

もちろん昔の僕からすれば完全に意味不明であるし、
英語の勉強をしていた頃は、こんなこと考えもしなかった。

だが幸運なことに、
僕はこの『未知の世界』に足を踏み入れることができ、
さらにここは英語というスキルを活かせる世界でもあった。

今でこそ、自分の望むライフスタイルを
実現することができたと確信をもって言えるが、
ここに辿り着くまでの葛藤は相当なものがあった。

．．．

少し過去を振り返ろう。

僕が大学時代、英語の勉強をしながら
いつも自分に言い聞かせていた言葉は、
「英語が話せるようになれば」
である。

英語が話せるようになれば
世界が広がる。
希望が見える。
人生が充実する。
仕事の幅が増える。
社会で高い評価を得られる。
収入が上がる。
恋人・友人ができる。

こういった理想の未来が待っているだろう。
そう信じてやまなかった。

英語学習はけっして順調だったわけじゃなく、
モチベーションが下がってサボりまくった時期もあったし
思うように伸びないことで何度も挫折しかけた。

それでも大学3年の終盤になった頃には、
勉強のコツなども掴めたこともあって、

洋画も字幕なしで大体わかるようになったし
外国人留学生の友達も増えたし
ネイティブとも英語で意思疎通できたし
TOEIC のスコアも 850 を超えるようになった。

ようやく人並み以上に
英語という武器を手に入れたことで
当時はかなり調子に乗っていた。

大学の友達との会話で
「お前は英語出来るからいいよなー」
「英語できる人ほんとうらやましいわー」
みたいな会話になる度、内心超ドヤってた。

これで将来は安定だ。
英語を使って好きなことをして
充実した人生を生きられるんだ！

まさに明るい将来を思い描いていた。

しかし、程なくして、
僕の考えを大きく変える出来事が起こる。

というのも、僕にはAさんという
大学時代から仲良くしてもらっている先輩がいた。

Aさんは学生時代に海外留学を経験しており、
英語が喋れる上に、コミュ力も抜群に高いという
ハイスペックな人だ。

そして A さんは持ち前の英語力を生かし、
大手外資系企業に就職していた。

その A さんが日本に帰ってきているということで、
僕、A さん含めその他 4 人程のメンバーで
久しぶりに集まることに。

「ういっす、久しぶり～」と
居酒屋に集合し、近況を話し合った。

この時、僕は A さんに興味津々だった。
英語を活かした職に就いているし、
海外でバリバリ働いているようだし、
さぞかし充実しているんだろうなど。

しかし、話を聞いていくうち、
僕の想像は間違っていることに気付かされた。

以下、その時の会話（イメージ）である。

僕

「A さん、仕事どんな感じですか？」

A さん

「死ぬほど忙しいよ。(笑)

3 時間睡眠が当たり前になってるわ」

僕

「ま、まじすか。。身体壊れないんですか？」

Aさん

「もうボロボロだわ。

正直1年後もこの仕事続けてる自信はないかな・・・」

僕

「そうなんすね。

僕も英語使える仕事は興味あったので・・・」

Aさん

「いや、覚悟はした方がいいよ絶対。

ぶっちゃけやりがいと求めてるだけでは甘かったわ。

ほとんど時間もないし、プライベートも0に等しいから

何のために英語勉強したのかも分からなくなる」

こういった話をAさんから色々聞いた。

「英語ができれば給料は同年代よりいいけど
かといって人生が充実するわけではない。」

「やりたいことはたくさんあるけど、
お金のために働かなくてはいけないという
ジレンマに悩まされている。」

などなど。

ちなみにこれは後日談になるが、
Aさんは一年後にはその会社を辞め、
日本で再就職している。

僕は、超モヤモヤした。
英語を勉強して自分は何をしたいのだろうか。

この時初めて、
英語は所詮一つの『手段』である、
という現実気づかされた。

僕はずっと英語を目標として捉えていた。

「英語ができれば何かが変わるだろう」
「海外に行くことになっても対応できる」
「日本国内でも価値のある人材になれる」
「将来食うに困ることはない」

こういった漠然とした目標はあった。

でもそれって・・・
必ずしも充実した未来が
約束されているわけではないよねと。

Aさんみたく仕事に追われていたら、
やりたいことのほとんどは諦めるだろうし、

他にも海外での職を調べてみても、
肉体的・精神的なストレスに悩まされたり、
英語力だけでは大きな価値にならなかったり、

日本で英語を活かす仕事と言っても
本当に自分がやりたいこととはかけ離れていたり、
結局会社のために身を削ることになるかもしれない。

仕事にやりがいを感じられれば何よりだが、
それと引き換えに自由がどんどん奪われていくのは
いかがなものだろうか。

うわあああ、僕が求めていたのは、
もっとなんかこう、英語のおかげで人生超楽しいです、
みたいなそんな未来を漠然と考えていた。

ただ、現実問題、英語を勉強することによって
人生が充実している人って割と少ないんじゃ・・・

将来が不安になり、
僕はネットで情報収集しまくった。

その結果、
現在進行形で英語を勉強している人でも、
英語の必要性に確信を持たず挫折してしまった人。

家事や子育ての合間に英語を勉強しつつも、
なかなか思い切ったアクションを起こせない主婦の人。

海外に日本の魅力を伝えたい！と考えながら、
具体的な手段がわからずくすぶっている人。

語学スクールで派遣業務として働くも、
毎日忙しく、収入も低く思い悩んでいる人。

などなど、
僕と似たようなジレンマを持つ人が
大量にいることが分かった。

彼・彼女らは、
家事や子育て、会社、大学の卒論研究など
英語とそれ以外のしがらみに挟まれて悶々としていた。

はあー・・・どうしようか。
どうすれば後悔のない人生を送れる？

この時、僕に就職しないという選択肢はなかったし
結局何かを捨てて、我慢をしながら

人生を生きていかなければいけないと思った。

そもそも大学生だった当時の段階で、
英語を勉強したからといって
人生の方向性が明確に見えたかというところ。
そんなことは決してなかった。

趣味は増えた。
海外ドラマがさらに楽しくなった。
英語のニュースをさらっと仕入れられるようになった。
外人と話すのにも抵抗がなくなった。
自分に自信もついた。(これはデカイ)

ただ、
英語だけで人生が決まるかというところ、
それは違う。

会社への就職、海外への移住など
環境を変えることができたとしても、

現実をシビアに見つめると
お金と時間のしがらみによって
行動は大きく制限されてしまう。

せっかく英語を勉強したのに
どれほどの意味があったのだろうか・・・

遊びたい衝動も押し殺して、
コツコツ続けてきた努力に価値はあったのか・・・

自分の英語力を 100%活かしきれないことに
半端なくブルーになった。

そんな僕の悩みを吹き飛ばしたのが
次に起こる奇跡的な出会いである。

・・・

2015年3月、大学4年の春休み、
僕はタイに旅行に行った。

友人と2人で、留学とかではなく、
純粹に遊び目的で行った。

そこで年齢の近い日本人のグループと出会い、
仲良くなることができた。

その中でも僕は、
おそらく年齢が1つ2つ上であろう
Bさんという男性と仲良くなった。

Bさんは物腰が柔らかく、
いかにも親しみやすい人柄だった。

それと同時に、なんだか自信のような
内から伝わってくるパワーを持ち合わせていた。

Bさんとの会話は衝撃の連続だったので
一部を抜粋する。

僕

「Bさんはしばらくこっちいるんですか？」

Bさん

「まあ、しばらくいる予定。
1ヶ月くらいは滞在するかな」

僕

「適当っすね(笑)。仕事とかしてないんですか？」

Bさん

「仕事は最近してないなー。
一応自分で事業やって稼いでるけど」

僕

「え？ま、まじすか。
どんなことやってるんですか？」

Bさん

「事業っていってもそんな大きなことではないよ。
ただ、個人でネットの影響力使って
自分のやりたいことをネタにして発信している感じかなー」

ネット？影響力？何を言ってるんだこの人は。
ここでしばらく思考が止まった。

が、Bさんの話はさらに続いた。

Bさんの経歴や現在をまとめると、
大まかにこんな感じだ。

実はBさんも僕と同じく、
最初は英語の勉強を長年続けていたらしい。
海外を飛び回るのが夢だったそう。

しかし現実には、
英語だけではどうにもならないことを思い知らされた。
仕事もあるし、お金も必要だし、時間もいる。

だからこそ、
ネット上のビジネスに可能性を見出した。

ビジネスとは人の悩みを解決することであり、
そこには善も悪も存在しない。
人の役に立つものを提供し、悩みを解決すれば、
当然対価としてお金を得ることができる。

ネット上には多くの悩みを抱えた人が集まる。
その中には英語の勉強で躓いている人もたくさんいる。

そこでBさんの英語学習の経験を生かすことで、
ビジネスとして成り立たせることができた。

あるいは今こうして海外を転々としていることが、
ブログなどのネット媒体を通して日本に伝えることで
それ自体が価値となりお金を生み出している。

最初はブログを作っても
10円程度の収益にしかならなかったという。

しかしビジネスの勉強に真剣に取り組んだことで、
今では一般的な会社員の数倍は稼いでいるらしい。

あらためて B さんの表情を見てみると、
めちゃくちゃ人生楽しそうでイキイキしていた。

僕は、この人やべーと思った。
まさしく英語の経験を生かしていると思ったし、
何より日々自分のやりたいことをして生きる
そのライフスタイルに憧れた。

が、この時、B さんの言っていることを
素直に受け入れることは難しかった。
そして激しく嫉妬してしまった。

『どうせ人を騙して稼いでいるんだろ。』

『ネットの収入に頼るなんてどうかしてる。』

『俺が真剣に英語を勉強してきた努力は何だったんだ。』

『人生こんなに好き放題やっていいわけがない。』

あー、今思えば、超絶しょっぱすぎる。
嫉妬したところで何か得られるわけでもないのに。

それでもいきなり未知の世界を見せられた僕は、
とっさにこういった感情が勝ってしまった。
(もちろん上記は心の声である)

色々な感情が渦巻いて固まっている僕に、Bさんは
「将来に悩んでいるんだったら、
ビジネスの勉強をしておいて損はないよ」

と言ってくれた。

ビジネスカー。
俺は英語ができれば
人生どうにでもなると思っていたなあ。

たしかにBさんのような
ライフスタイルは心の底から憧れる。

英語を使って世界各国を駆け回りながら、
現地の人とコミュニケーションを取り、
刺激的な体験をしまくりたい。

もし困っている人がいたら、
自分の英語力を生かして、
何か人のために役に立つことをしたい。

でも怖かった。
安定した職につかずに、
個人力で生きていくのが。

．．．

その後、僕の中で、
様々な葛藤があった。

日本に帰ってからは、
死ぬほど悩みまくった。

Bさんとの出会いは
良くも悪くも、僕の中に今までにない
新たな世界の可能性を見出させた。

しばらく悩みぬいた末、
Bさんのような生き方は本当に実現可能なのか、
一度調べてみることにした。

すると世の中には、
僕が思っているよりもはるかに多くの
会社以外のところで
自由に生きている人たちが存在した。

いくつか例をあげて紹介する。

まず一番代表的なのが、
Bさんのようにネット上に自分のメディアを持ち、
何かしらの情報を世の中に発信していく方法である。

この良いところは、
たとえそれがどんなに小規模な発信であっても、
たった一人、誰かの共感を得ることができれば
その人が自分のファンになってくれるという点だ。

自分が英語の勉強をやってきたのであれば、
その体験記、もしくは現在進行形で取り組んでいる過程など
そういった内容に共鳴する人は世の中に必ず存在する。

同じような悩みを持っている人に向けて、
解決策となる情報を共有出来たら最高だし、

自分がお勧めできるような教材やサービスなど、
そういったものがあれば紹介することだってできる。

これが俗にいうアフィリエイトであり、
情報を収益化する一つの手段でもある。

今でいうなら、
ブロガーや YouTuber を想像してもらえれば
一番わかりやすいと思う。

彼（彼女）らがやっていることはまさに、
ネット上のメディアを通して、
情報を発信し、ファンを作っていくスタイルである。

もちろん必ずしも彼らのように
派手なスタイルでやる必要はない。

というか、
ブロガーや YouTuber のほとんどは
ビジネス的な面では勉強不足である。

ビジネスをちゃんと学べば、
もっと楽に稼げるのにな。
とぶっちゃけ言わざるを得ない。

まあいいや。話が逸れた。

こんな感じで、
ブログ、ウェブサイト、
YouTube、Twitter、Facebook など

ネット上で何かしらの発信をしながら
お金を稼いで自由に生きていくことは、
今の時代、何も珍しいことではないのだとわかった。

他にも今であれば、
クラウドソーシングのサービスを使って、
会社以外の場所で稼ぐことも有名な方法だ。

翻訳や英文執筆の仕事を受注することで
ある程度のお金を稼ぐことが可能である。

僕は、クラウドソーシングを利用しながら
毎月 20 万円くらい生活に必要なお金を稼いで、
海外でのんびり暮らしている人を何人か知っている。

パソコンさえあれば仕事が成り立つのだから、
日本にいなくても何も問題はない。

こういったライフスタイルもあるのかと
当時はかなり驚いた。

あー、いろんな世界があるんだな。
俺は何も知らなかったなと。

ちなみに正真正銘
自由な生き方を目指すのであれば、
前者のような方法をおすすめする。

体形的にビジネスの知識を学び、
ネット上の発信力を付けていくことが、
時間、お金、場所、すべての自由を得られるからだ。

後者のクラウドソーシングのような方法だと、
結果的に得られるのは、場所の自由だけであり、
本当の意味で自由であるとは言い難い。

このあたりの話は、
書き始めるとかなり長くなるので
また別のところでしようと思う。

とにもかくにも、
偶然 B さんという人間と出会うことができたのは
僕にとって幸運すぎる出来事だったのかもしれない。

もし B さんの話を聞いていなければ、
こういった世界を知ろうとは考えなかった。

知ってるか知らないかの違いは本当に大きい。

たとえば、同じ英語学習者でも、
外資系企業に就職した A さん。
会社に縛られず自由に生きる B さん。

Aさんは、
英語力を生かし仕事にやりがいを求めるも
結局ドロップアウトしてしまった。

仕事自体があまりに忙しすぎて、
本来自分がやりたいこととは
かけ離れた生活だったのかもしれない。

生きるための仕事と、
人生を楽しむために身につけた英語。

その両者のジレンマに思い悩み、
プライベートの楽しみはすべて封印し、
趣味や、英語を使ってやりたいことの全てを
押し殺して生きる結果となってしまった。

一方、Bさんは
個人で稼いでいく力を身につけたために
時間のこともお金のことも一切気にせずに、
世界中を飛び回っている。

いつでも遊びに全力だし、
刺激的な世界があれば迷いなく飛び込める。

そして何よりも仲間がたくさんいた。
自由に生きているがゆえに
出会いのチャンスも圧倒的に多く、
国籍問わず人生を充実させる仲間に出会っていた。

英語というコミュニケーションツールを
本当に自分がやりたいことのために
活かしていると言えるだろう。

AさんとBさんでは、
本来の能力には大きな差はないはずだが、
実際には全く正反対の道を進んでいた。

僕が求めるのはどちらの人生だろうか？

間違いなくBさんの人生であった。

僕は決意した。
今までは英語が何より重要だと思い、
そのための努力をしてきた。

じゃあ今度は、その情熱を
少しだけビジネスの勉強に向けてみよう。

意を決して新しい世界に飛び込んだ。

．．．

結果、

ビジネスの勉強は楽しかった。

自分でもビビるくらいワクワクする世界だった。

新しいことを学び取るたび、

知的好奇心が満たされ、

もっと成長したいという欲求が芽生えた。

そして、ビジネスを始めてから3か月後、

僕は自分で作ったブログから

8000円という収益を稼ぐことができた。

うおおお。まじか。

自分の力だけで8000円も稼ぐことができた．．

いける、いけるぞ俺。

もっとやったる！！！！

まさに希望の光である。

その後もどんどん
仕組みを大きくするための作業をした。

また、それと同じくらい
『学び』にも時間を費やした。

僕がビジネスの勉強をする中で、
大学生ながら月収 300 万円を稼ぐ起業家がいて
僕はその人のコンテンツから学びまくった。

ちなみにその人はマーケティングが鬼上手く、
参考になるポイントが大量にあった。

ビジネスを始めて半年後には、
月収で 50 万円を超えた。

それ以降、月収 50 万円を下回ったことはなく、
現在は月収 200 万円を自動化することを目標にしている。

個人力で稼げるようになったことで、
僕の人生は 180° 変わった。

一番嬉しいのは
思い立ったら即、海外へ行けることだ。

僕は YouTuber で有名な
バイリンガールの吉田ちかさんの動画が好きなのだが、
彼女の動画を見ていると無性に海外に行きたくなる。

昔は海外に行きたいと思った時でも、
学校やバイトがあるから、と我慢していた。

しかし今では海外に行きたいなと思ったら、
1 時間後には海外行きの航空チケットを予約している。

仕事や人間関係のことを一切に気にすることなく、
いつでも海外に飛び立つことができるのだ。

好きなものを我慢せずに
食べられるのも地味に嬉しい。

ヨーロッパの方の料理など、
まだまだ食べてみたい料理は尽きない。

こういった世界は、
普通に就職していたらありえなかった。

僕がどのように収入を得ているかというと、
インターネットビジネスである。

僕が運営している

[『独学英语 LIFE』](#) もそうだが、
他にも複数のインターネットメディアを持っている。

これの何が素晴らしいかというと、
自分の生きてきた人生そのものが
誰かにとって価値となり、
それがビジネスとして成立するところだ。

僕の場合、
独学で英語学習をしてきた経験があるから
それをそのままコンテンツに反映している。

そしてより深い内容は、
メールマガジンなどで情報を掘り下げながら、
読者さんとより親密な関係を築いている。

僕自身、読者さんから色々な相談を受けることで、
どういった悩みを多くの人が抱えているのかが
わかってきたし、

それを生かして、
さらに情報の発信内容を変えていくことで、

ビジネスの基本原則である“悩み解決をすること”を
より高い次元で提供できるようになった。

ちなみに僕は
英語学習のモチベーションを保つのに苦労したから、
そこら辺の話はいくらでもネタが湧くし、かなりウケがいい。

あとは・・・

これはいずれ絶対やりたいと考えているのだが、
日本の情報を海外向けに英語で発信していきたい。

それなりの英語のリーディングと
ライティング能力があれば誰でもできるから、
英語学習者はめちゃくちゃ有利な分野だ。

たとえば自分の地域の特産物を紹介するだけでも
海外の人には需要があるだろう。

考えてみてほしいのだが、
日本人の僕らでさえ、自分の県以外の特産物は
知らないことがほとんどである。

当然、英語圏から見た日本っていうのは
もっともっと“意味わからん”状態であるはずだから
こういった情報には本当に価値がある。

それでアクセスを集めることができたなら、
広告を貼れば収益化できるし、

なんなら、直接日本に来る外国人と会って
案内をしてあげるのも面白いんじゃないだろうか。

僕は北海道の出身なのだが、
「北海道にくる外国人の方、案内しますよー」
「一緒にウマイ海鮮食いに行きましょうー！」

と、自分のメディアを使って呼びかければ、
そういった約束を取り付けるのは簡単だ。

自分にとっては
英語力を鍛える絶好の機会にもなるだろうし、

相手からしても親切に案内をしてくれる
現地人がいるなんて最高に嬉しいだろう。

案内料としてお金をもらっても文句はないだろうし、むしろこれがビジネスの本来の形である。

おまけに友達を増やせる可能性も高いという・・・

あー、これかなりいい。
考えるだけでワクワクしてきた w

こういったことが実現できるのは、
インターネットという素晴らしい技術のおかげだ。

もはや個人でも自分のメディアを持って
影響力を付けて稼いでいけるといって、
まさに最高の時代であると僕は思っている。

別に馬鹿みたく大きな影響力は必要なく、
たった1つのブログ、ウェブサイト、YouTube チャンネル、
Twitter、フェイスブック、インスタグラム・・・

なんでもいいから情報発信メディアを持ち、
適切なビジネスの知識を組み合わせれば、

個人の“小さな影響力”で
十分な収入や自由な人生を手にする事は可能なのだ。

僕は最初この世界を拒んだ。
ネットなんて・・・
個人でビジネスするなんて・・・と。

自分が今まで生きてきた常識をひっくり返すような
異次元な世界を受け入れることを
つまらないプライドが許さなかった。

本当にうんこ野郎だったと思う。
危うくすべての可能性を消してしまうところだった。

僕が今こういった人生を送れているのは、
たまたま運よく人生を変える人物に出会えたからであり

そして嫉妬や、葛藤があったものの
最初の一步を踏み出そうと思えたからだ。

ちょっとでも何かが違っていれば、
足がすくんで一步を踏み出せなかったかもしれない。

だからこそ、

これまでに英語のために努力してきた人、
今、英語学習に励んでいる人、
英語が大好きな人、
海外に憧れを持っている人、
外国人と交流したいという思いがある人、

こういった人たちには、
僕のような生き方もあるのだということを
ぜひ知っててもらいたい。

僕は英語の勉強に取り組んでいる人は、
1人残らず全ての人を尊敬している。

英語の勉強をするということは、
自分の人生に真正面から向き合い、
充実させるための努力をするということだ。

それをやっている、
もしくはやろうかなと考えている時点で

めちゃくちゃ前向きな生き方だと思うし
評価されるべき尊いことである。

僕の大学時代を振り返ってみても

英語の勉強をしているという人は
決して多くはなかった。

中には目的意識を何も持たずに、
ただダラダラと人生を送ってしまっている人も
少なからずいた。

これは大学内の話に限らずとも、
会社内や、家事や子育てに勤しむ主婦の間でも
自分の成長のために何かに取り組んでいるという人は
限りなく少ないといえるだろう。

だから『英語』という
一つの目標に向かって努力している人は
ポテンシャルがその時点ですば抜けているのだ。

留学に行ったり、海外経験を積んでいる人も
同様にポテンシャルの塊である。

ただ、昔の僕みたく、
たとえ英語を学んだとしても

それを 100%活かしきれず、
くすぶっている人が多いのも事実だと思う。

僕は

「英語 生かせる 仕事」と
何度も何度も検索したことがある。

だが、本当に欲しいと思える情報は
そこに何一つなかった。

ゼーンぶありきたりで薄っぺらい情報ばかり。
それもどのサイトも同じようなことしか
書いていなくて笑えてくる。

俺が欲しいのはそんな情報じゃない！
もっと本質的な答えはないのか！

自分の欲望に素直に生きると、

僕はお金も稼ぎたかったし
自由な時間も欲しかったし
充実感に満たされる人生が欲しかった。

それを叶えるのは
やはり無理なのかと思わざるをえなかった。

しかし、

新しい世界に飛び込む勇気と
正しい知識さえ学んでいけば、

人生はいくらでも切り拓けるのだと
僕は身をもって実感した。

もしこのレポートを読んでもくれた人が、
何か一つでも可能性を感じてもらえたなら
こんなに嬉しいことはない。

英語学習に取り組んでいると、
僕と同じようジレンマに悩まされるときが
必ずやってくると思う。

そんな時には、

せっかく英語という最高の武器を持ってるんだから、
もっと自由な人生を目指そうぜっていう、
今回のレポートのことを思い出してもらえたらと思う。

僕自身も、これまでの反省を生かし
自分の欲求に素直に忠実に、進化を続けていきたい。

お金が欲しい
自由な時間が欲しい
世界中を飛び回りたい
ウマイものを食いたい
珍しい体験をしたい
好きなことをして人生を生きたい
趣味に全力でありたい

．．．

全部いいじゃないか。

正直に生きて悪いことは何もないと思う。

だから僕はこれからも、
英語力をさらに上げていくし、
ビジネスの勉強も続けていくし、
コミュニケーションスキルも高めていきたい。

うん、そうだ。もっと頑張ろう。

まだまだやりたいことがたくさんありすぎる。

それを実現するためにも、
これからももっと成長していかなければ。

素直に行動を続けていけば、
必ず理想の未来は実現することができるのだから。

だいぶ長くなってしまったが、
ここらへんでそろそろ終わらせたいと思う。

ここまで読んでくれた読者のみなさんには
本当に感謝しかない。

正直、あまり人に見せたくない感情もあったが、
あえて本音で書いたことで
自分と向き合ういい機会にもなった。

また、最後の方は
僕の決意表明のような形になってしまったが
これもある意味、いい気づきの場となった。

そんなレポートに最後まで付き合ってくれことに
嬉しく思います。

ここまで読んでくれた方もぜひ、
自分の本当に成し遂げたい人生を実現するために、

自分に対して素直に、
新しいことへの挑戦を恐れずに、
どんどん前向きに生きて行ってほしいと
心から願っています。

改めて、
ここまで読んでくれてありがとうございました。

感想はいつでもお待ちしております。

REO

追伸

誤解のないように言っておきますが
僕は英語学習を否定しているわけではありません。

むしろ英語学習に真剣に取り組んだからこそ
今の自分があると言っても過言ではないです。

ただ、今回伝えたかったのは
人生の視野は常に広く持つておくべきである、
ということなのです。

そして人生の時間は限られています。

英語が最優先で必要な人は
英語を勉強するべきだし、

そうでない人は、
まずはビジネスの知識を学び、
その後に英語を勉強してもいいのです。

何をやるべきか。
逆に何をやらないべきか。

人それぞれ、状況によって変わります。
自分の胸に手を当てて考えてみてください。

僕の反省点はレポート内でも触れましたが、
英語を手段ではなく、目的として捉えていたことです。

英語はあくまで一手段です。
ゴールではありません。ビジネスも同様です。

すべては人生を充実させるための
一手段、道具にすぎませんから。

ぜひ今回のレポートをきっかけに、
人生について、
自己実現について、
何が必要か改めて向き合ってもらえたら嬉しく思います。